

市民の暮らしと健康を大切にすあたたかい市政へ

高すぎる国保料引き下げ、減免制度の充実を

六月には、今年度の国保料の通知書が各世帯に郵送され、厳しい暮らしを余儀なくされている市民にとって、大きな負担であり、とりわけ値上がりした保険料への疑問や怒りの声が上がっています。大津市では今年四月時点で四万五千戦世帯余のうち、八割が年間所得二〇〇万円以下、六、七五六世帯が保険料を滞納しているという現実です。

そうした中、去る六月二十六日、「大津市の国保をよくする会」（今村浩代表）は、「暮らしと健康を守る社会保障としての大津市国民健康保健事業の改善を」目指し、市に対して申し入れをおこないました。日本共産党大津市会議員団から塚本・石黒両市議が参加しました。

「命を守ることを大切にすは市民のねがい

参加した中小業者の方からは、「保険証が取り上げられ、家庭が崩壊、そして差し押さえ。それでも保険料免除できるという話は聞こえてこない。私たちが、今の状況からどう脱却できるかなど、考えてもらえず、取り立てることだけを考えておられる気がする。実際私たちの仕事の状況を知ってほしい。」と、理屈だけではどうにもならない、実情を感じとってほしいといった声が出されました。

保険証発行で市民の健康守れ

医療関係者からは、秋以降の再流行が心配される新型インフルエンザに対して、無保険状態のため、お医者さんに行かない人が増え、感染拡大がおこるのではないかと、保険証のない人に、保険証の発行を検討しているのか、と市に対応を迫りました。大津市は、今は言えないと即答は避けましたが、早急に対応すべき課題です。

減免制度充実に国が財政支援の方針

今の大津市の申請減免の制度では、前年度と比べて収入が半額にならないと申請減免が受け付けてもらえないなど、所得の低い人に対しての減免制度が十分ではありません。

厚生労働省は、医療機関の負担軽減と、生活に困窮する人への支援として、来年度から国民健康保険に加入する低所得者が、医療機関にかかった時に医療費の窓口負担の減免が受けられるよう、国保を運営する自治体に財政支援を行う方針を決めました。今後の制度充実に大きな力となりそうです。今後も引き続き、安心して医療を受けられる保険制度とするため、皆さんと一緒に運動を進めていきます。

暮らしを支える市政へ、市民の立場で論戦

六月市議会定例会は、六月十八日に閉会しました。六月市議会定例会では、市民の暮らしを支える市政をどう進めるのかが、大きな焦点となりました。日本共産党大津市会議員団は、六名全議員が暮らしや福祉対策を進める質問に立ちました。また提出議案に対しては、市民の目線で積極的な審議をおこないました。

医療費無料化などを決めた六月議会

この議会での主な議案は、●浜大津にある元の社会教育会館を旧大津公会堂として改修し、中心市街地活性化のためのレストランなどの観光施設として整備すること●十月から実施する就学までの子どもの医療費を完全無料化すること●国民健康保険の出産手当の金額を三十五万円から三十九万円に引き上げること●大津市北部の伊香立運動公園のグラウンドやテニスコートを設置するなど条例改正が行われました。日本共産党大津市会議員団もこれらに賛成しました。

住宅改修の助成充実の請願に共産党以外の各派が反対

地域経済対策として市が再開した住宅改修助成事業（市内の事業者でリフォームをする場合、一件につき一割・十万円までを助成）、五月に募集を初めてわずか一週間で予定の四〇〇万円の事業費を上回りました。市内の中小業者の団体からこの事業の拡充を求める請願が提出され、日本共産党は賛成、他の会派はまともな理由も示さずにこれを否決しましたが、不況に苦しむ業者から「営業の実態がわかっていないのか」と怒りの声があがっています。誰が



申し入れをする「大津市の国保をよくする会」

要望したかにかかわらず、市民の切実な願いに応えるのが議会の役割です。

六月議会ではその他、核兵器廃絶を求める意見書や北朝鮮の核実験に抗議する決議などが全会一致で可決されました。

市民生活の安定に逆行の議案も

一方で市民生活に影響する問題のある議案も。市税条例の改正は住宅ローン減税などの改善も含まれますが、土地投機を引き起こす長期の土地譲渡所得への控除を新設するなど、金持ち減税を拡大するもの。また、市が独自に行っている父子家庭への児童福祉手当を公的年金受給者には支給しないとす改悪も行われました。

市営ガス料金を、原油価格に連動させて毎月変動させるなど、市民生活の安定に逆行する改悪も行われました。大きな赤字を計上している公営のガス事業として、投機などによる原油価格の値上がりをも市民に負担させるべきではありません。しかも、公共料金の変更なのに議会の審議・議決も行われないことも問題です。日本共産党はこれらの問題点を指摘・討論して、これらの議案に反対しました。

憲法を守って、いのちと暮らし最優先の市政を

日本共産党
大津市会議員団